

# ILS 高カテゴリーー運航の概要

## ILS高カテゴリーー運航

精密進入着陸を行う場合、それぞれのカテゴリーに応じた決心高やRVRが決められている。カテゴリーには、CAT-I、CAT-II、CAT-IIIの3種類があり、そのうち、CAT-II及びCAT-IIIが高カテゴリーに分類される。CAT-I運航は決心高60m以上かつRVR550m以上が自動操縦による精密進入着陸の条件であるのに対し、CAT-II運航は決心高30m以上かつRVR300m以上、CAT-III運航は決心高なし又は30m未満かつRVR50m以上300m未満でも、自動操縦によって精密進入着陸を安全に行うことができる。

### CAT-Iの場合

決心高200フィート(60m)

- ・RVR550メートル以上
- ・地上60mで滑走路・灯火が見えなければ、着陸をやり直す。

### CAT-IIの場合

決心高100フィート(30m)

- ・RVR300メートル以上
- ・地上30mで滑走路・灯火が見えなければ、着陸をやり直す。

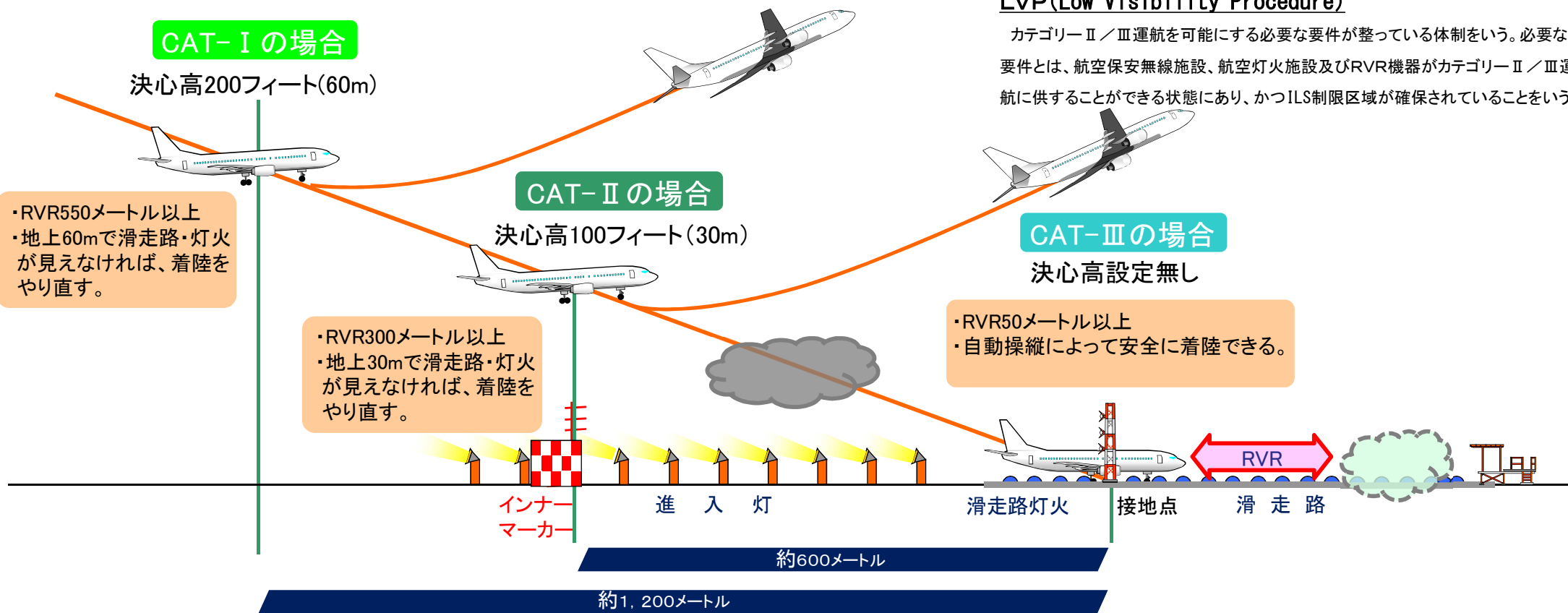
### CAT-IIIの場合

決心高設定無し

- ・RVR50メートル以上
- ・自動操縦によって安全に着陸できる。

## LVP(Low Visibility Procedure)

カテゴリーII/III運航を可能にする必要な要件が整っている体制をいう。必要な要件とは、航空保安無線施設、航空灯火施設及びRVR機器がカテゴリーII/III運航に供することができる状態にあり、かつILS制限区域が確保されていることをいう。



カテゴリー区分	実施箇所
CAT-II	新千歳19RILS、青森ILS、成田16RILS、東京34RILS、中部18/36ILS、関西06L/06R/24R/24LILS、熊本ILS
CAT-III	新千歳19RILS、釧路ILS、青森ILS、成田16RILS、東京34RILS、中部36ILS、広島ILS、熊本ILS

### 【決心高】

着陸しようとする航空機が進入継続の可否を判断する高さ。その高さで滑走路等が見えなければ着陸をやり直す。

### 【RVR(Runway Visual Range: 滑走路視距離)】

着陸後、パイロットが滑走路を見通すことの可能な最大距離